

要 望 書

《 国 道 3 4 9 号 整 備 促 進 に つ い て 》

【平成29年8月】

国道349号建設促進期成同盟会
会 長 根 本 匠

国道３４９号の整備促進について

国道３４９号は、昭和５０年４月に国道へ昇格以来、漸次改良整備が進められ、着々とその成果が得られておりますことに感謝申し上げます。

国道３４９号は、茨城県水戸市を起点に福島県の阿武隈山系を縦断しながら宮城県柴田町に至る実延長約２６０km、沿線３県・１８市町村に及ぶ路線であります。阿武隈山系を縦断するという路程から、未だ各所に幅員が狭隘で、かつ、屈曲の甚だしい箇所が残されており、国道としての機能を十分に発揮できておりません。また、沿線市町村の中心市街地等を通る路線でも、歩道等交通安全施設の整備の遅れや近年の通行量の増大、特に大型車両の通行増加によって歩行者等の安全が脅かされているなど、その実情は三頁以降に記載する整備促進要望箇所が示すとおりでありまして、地域住民よりそれら区間の一日も早い改良整備が強く求められております。

道路は、人と暮らしを支え、豊かな地域社会を形成する上で最も基本的な社会資本であることは言うまでもありません。さらに、我が国全体の喫緊の課題である「人口減少の克服」と「地方創生の実現」にも道路整備は不可欠であります。

また、東日本大震災において「道路」は、支援物資の運搬、緊急車両の通行など「命をつなぐ道」として、その重要性が改めて認識されたところであります。加えて、震災を教訓に幹線道路のみならず、それを補完する道路を整備し、代替性・多重性のある道路ネットワークの構築も強く求められており、正に国道３４９号が整備されれば、その機能を十分に発揮できるものと期待されるものであります。

つきましては、地域の安全・安心を確立するため、真に必要とされている道路を安定的かつ計画的に整備できるよう、下記事項について要望いたしますとともに、整備促進要望箇所として示した国道３４９号の早急なる改良整備について、特段のお力添えを賜りますよう要望いたします。

記

1. 道路整備における「事業の必要性」「費用対効果」の評価・判断にあたっては、地域の意見を十分に踏まえ、救急医療アクセスなど地域の実情を反映すること。
2. 安全で安心できる地域づくりのため、防災・減災に資する道路整備を推進すること。
3. 計画的な道路網の整備を推進できるよう、必要な財政措置を講じること。
特に、道路財特法の補助率等の嵩上げ措置については、平成30年度以降も継続すること。
4. 道路やこれらに係る橋りょう、トンネル等の老朽化が進んでいる社会インフラについて、自治体の定めたメンテナンスサイクルなどに基づき、長寿命化対策等が確実に実施できるよう、維持管理・更新に係る安定的な予算を確保するとともに、人材育成（技術者の派遣等）や戦略的な技術開発など技術的支援を推進すること。

国 道 3 4 9 号 整 備 促 進 要 望 箇 所

県名	市町村名	要望番号	要 望 箇 所		事 業 内 容
			箇所名（地名）	延長 m	
宮 城 県	柴 田 町	1	白 幡 橋	168	橋 梁 整 備
	角 田 市	2	江 尻 ～ 小 坂 地 区	2,000	交 通 安 全 施 設 等 整 備 事 業
	丸 森 町	3	大 張 川 張 ～ 耕 野 地 区	6,000	道 路 改 良
福 島 県	伊 達 市	4	梁川町五十沢字柴崎地内 ～沼ノ平地内	1,500	道 路 改 良
		5	梁 川 バ イ パ ス	1,290	道 路 改 築
		6	保原町二井田字八百地 ～十二丁目地内	3,100	道 路 改 良 (歩 道 整 備)
		7	保原町字四丁目～赤橋地内	450	道 路 改 築
		8	御 代 田 1 工 区	1,120	道 路 改 築
	川 俣 町	9	大 綱 木 地 区	5,000	国 道 改 築
	二 本 松 市	10	針 道 字 櫓 町 地 区	100	交 通 安 全 施 設 等 整 備
		11	戸 沢 字 六 角 地 区	400	道 路 改 良
		12	戸 沢 字 万 上 地 区	200	道 路 改 良
		13	東 新 殿 字 浮 内 地 区	100	道 路 改 良
		14	杉 沢 字 戸 ノ 内 地 区	1,000	道 路 改 良
		15	杉 沢 字 宮 ノ 前 地 区	500	道 路 改 良
	田 村 市	16	船引町荒屋敷地内 ～軽井沢地内	2,000	道 路 改 良
		17	大越町牧野字笹ノ町地内	100	交 通 安 全 施 設 等 整 備 (歩 道 設 置)

県名	市町村名	要望番号	要 望 箇 所		事 業 内 容
			箇所名（地名）	延長 m	
福島県	小 野 町	18	谷 津 作 地 区	550	歩 道 設 置
	い わ き 市	19	三 和 町 上 三 坂 地 区	100	交 差 点 改 良
	平 田 村 古 殿 町	20	平田村檜坂地区 ～古殿町山上字才木草	2,150	道 路 改 良
	鯨 川 村	21	強 滝 地 区	400	道 路 改 良
		22	滝 ノ 下 地 区	1,600	道 路 改 良
		23	戸 草 ・ 大 竹 地 区	3,000	道 路 改 良
	塙 町	24	南 田 代 地 区	2,400	道 路 改 良
		25	片 貝 地 区	1,800	道 路 改 良
	矢 祭 町	26	小 田 川 2 工 区 （ 宝 坂 ）	1,340	国 道 第 一 種 改 良
		27	下 関 工 区 （小田川・下関河内・上関河内）	3,400	道 路 改 良
茨城県	那 珂 市 常 陸 太 田 市	28	那珂市杉～常陸太田市瑞龍町	10,400	道 路 改 良

要望 番号	市町村名	宮 城 県 柴 田 町	
1	要望箇所	白 幡 橋	
		事業内容	橋 梁 整 備
		延長 (m)	1 6 8
		《現状と要望事項》 柴田町を縦走する一級河川「白石川」に架かる「白幡橋」は、昭和 13 年に架設以来、既に 79 年が経過し、老朽化が著しい状況にあります。 「白幡橋」は、国道 349 号を利用して角田市・丸森町、そして伊達市梁川町など福島県方面へ通じる重要な橋梁として年々通行車量が増大しており、さらに主要地方道白石・柴田線とも重複しているため、朝夕のラッシュ時は慢性的な交通渋滞が生じております。 平成 20 年度に地覆、高欄、照明灯の交換及び歩道橋塗装補修工事が行われ、平成 26 年度には耐震補強工事が実施されたところですが、今後も交通量の増加が予想されるところでありますので、早急な橋りょうの架け替えが図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	宮 城 県 角 田 市	
2	要望箇所	江 尻 ～ 小 坂 地 区	
		事 業 内 容	交通安全施設等整備
		延長 (m)	2, 0 0 0
		《現状と要望事項》 角田市江尻～小坂地区については、平成 11 年度より交通安全施設等整備事業が実施され、Ⅰ期工事 (L=1, 000m) が平成 21 年度に完了したところであります。 しかしながら本箇所は、一級河川「阿武隈川」の堤防の一部を国道として利用しており、両側にガードレールが設置されている箇所もあり、近年の交通量の増大、特に大型車両の増加により、歩道未整備区間での歩行者・自転車が大変危険な状況にあります。 つきましては、Ⅱ期工事 (L=1, 000m) の早期完成とその先の歩道整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望番号	市町村名	宮 城 県 丸 森 町	
3	要望箇所	大 張 川 張 ～ 耕 野 地 区	
		事業内容	道路改良
		延長 (m)	6, 0 0 0
		《現状と要望事項》 丸森町大張川張～耕野区間は、幅員が狭隘で屈曲が連続しているため、接触事故が多発しており、特に、大型車両は、対面交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならず、大変危険な状況にあります。 さらに、阿武隈川の増水時には冠水によって交通不能となる区間でもあります。 また、本路線は、「国道4号」・「東北自動車道」で大規模な災害や冬季間の凍結等により通行止めが発生した際には、迂回路としての機能を果たす路線であることから、早急な改良整備が強く求められております。 つきましては、現在、検討が進められている国直轄権限代行事業の早期採択に向け、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 伊 達 市	
4	要望箇所	梁川町五十沢字柴崎地内～沼ノ平地内	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	1, 5 0 0
		《現状と要望事項》 伊達市梁川町五十沢字柴崎地内～沼ノ平地内の区間は、阿武隈川の増水時には冠水によって通行不能となる箇所であり、幅員も狹隘で屈曲が続くため、対面交差を行うためには一方が待避所まで後退しなければなりません。 つきましては、洪水期にも通行可能な路線整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 伊 達 市	
5	要望箇所	梁 川 バ イ パ ス	
		事業内容	道 路 改 築
		延長 (m)	1, 2 9 0
		《現状と要望事項》 伊達市梁川町市街地を縦貫する本路線は、幅員が狭隘な上、交通量の増大等により朝夕のラッシュ時に限らず、日中においても交通渋滞が生じております。 現在、鋭意、バイパス工事が進められておりますが、工事等に伴う大型ダンプの往来が激しく、依然として危険な状態が続いております。 つきましては、梁川バイパスの早期完成に向け、引き続き特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 伊 達 市	
7	要望箇所	保原町字四丁目～赤橋地内	
		事業内容	道 路 改 築
		延長 (m)	4 5 0
		《現状と要望事項》 伊達市保原町字四丁目～赤橋地内の区間は、伊達市の中心市街地に位置し、自動車、歩行者及び自転車の通行量が大変多い区間でありますが、道路家屋連坦地区のため、現道による改良整備が難しい区間であります。 つきましては、代替路線による整備が図られるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 伊 達 市	
8	要望箇所	御代田 1 工区	
		事 業 内 容	道 路 改 築
		延長 (m)	1, 1 2 0
		《現状と要望事項》 伊達市月舘町（御代田工区間）は、幅員が狭隘にして歩道も無く、特に大型車両が対面交差を行うためには一時停止を行わなければならないなど、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、御代田 1 工区の早期完成が図られるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 川 俣 町	
9	要望箇所	大 綱 木 地 区	
		事業内容	国 道 改 築
		延長 (m)	5, 0 0 0
		《現状と要望事項》 川俣町の仁井町～大綱木境木間は、幅員が狭隘でカーブが連続しており、また、大型車両の通行も多く、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
10	要望箇所	針道字櫓町地区	
		事 業 内 容	交通安全施設等整備
		延長 (m)	1 0 0
		《現状と要望事項》 二本松市針道字櫓町は、東和中学校、東和小学校、カントリーパークとうわへの市道及び針道の旧商店街への市道交差点が約 60m間にあり、右折する際に後続車の追突等の事故が懸念される大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に右折レーン等交通安全施設等の整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
11	要望箇所	戸沢字六角地区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	4 0 0
		《現状と要望事項》 二本松市戸沢字六角地区は、2車線で歩道も整備されている区間ではありますが、カーブで見通しが悪く、対向車同士の接触事故が多発しており、特に、冬期間は日当たりが悪いため、路面凍結によるスリップ事故也多発しているなど、大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
12	要望箇所	戸沢字万上地区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	2 0 0
		《現状と要望事項》 二本松市戸沢字万上地区は、2車線で歩道も整備されている区間ではありますが、カーブで見通しが悪く、対向車同士の接触事故が多発しており、特に、冬期間は日当たりが悪いため路面が凍結し、自損事故等も多発しているなど、大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
13	要望箇所	東新殿字浮内地区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	1 0 0
		《現状と要望事項》 二本松市東新殿字浮内地区は、屈曲した視距の悪い区間で、集落へ通ずるT字交差となっております。 さらに、本区間は通学路としても利用されており、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、本年度、道路計画についての説明会が実施されたところでありますので、速やかな工事施工と早期完成に向け、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
14	要望箇所	杉沢字戸ノ内地区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	1, 0 0 0
		《現状と要望事項》 二本松市杉沢字戸ノ内地区は、屈曲した視距の悪い区間で、集落へ通ずるT字交差となっております。 さらに、本区間は通学路としても利用されており、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、平成28年度より改良工事が進められておりますが、早期完成に向け、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
15	要望箇所	杉沢字宮ノ前地区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	5 0 0
		《現状と要望事項》 二本松市杉沢字宮ノ前地区は、屈曲した視距の悪い区間で、集落へ通ずるT字交差となっております。 さらに、本区間は通学路としても利用されており、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 田 村 市	
16	要望箇所	船引町荒屋敷地内～軽井沢地内	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	2, 0 0 0
		《現状と要望事項》 田村市船引町門鹿字荒屋敷地内～新館字軽井沢地内は、幅員が狭隘のため大型車両との対面交差が困難な状況にあります。 さらに本区間は、歩道の整備がされておらず、特に、軽井沢地内の沿線には小学校があるため、通学中の児童が危険にさらされております。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 田 村 市	
17	要望箇所	大越町牧野字笹ノ町地区	
		事 業 内 容	交通安全施設等整備 (歩道設置)
		延長 (m)	1 0 0
		《現状と要望事項》 田村市大越町牧野字笹ノ町地区は、通学路でありながら、狭隘で車両防護柵もない歩道未設置箇所があり、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に歩道等交通安全施設等の整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 小 野 町	
18	要望箇所	谷 津 作 地 区	
		事 業 内 容	歩 道 設 置
		延長 (m)	5 5 0
		《現状と要望事項》 小野町谷津作地区は、近隣小・中学校の通学路として利用されているが、歩道が整備されていない区間があり、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に歩道が設置できるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 い わ き 市	
19	要望箇所	三和町上三坂地区	
		事 業 内 容	交 差 点 改 良
		延長 (m)	1 0 0
		《現状と要望事項》 いわき市三和町上三坂地区にある交差点は、国際物流基幹ネットワークの対象路線である国道49号と交差しておりますが、その交差形状が悪く、国道349号から上り方面の国道49号への左折及び下り方面の国道49号から国道349号への右折において、大型車両の通行が非常に危険な状況にあります。 つきましては、早急に交差点の改良が図られるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 平 田 村 ・ 古 殿 町	
20	要望箇所	平田村北方字檜坂地区～古殿町山上字才木草地区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	2, 1 5 0
		《現状と要望事項》 平田村北方字檜坂地区～古殿町山上字才木草地区は、幅員狭隘にして屈曲が続いており、また急勾配でもあるため、特に、大型車両との対面交差が困難な状況にあり、車両交差を行うためには、坂道で見通しの悪い状況下で一方が待避所等まで後退しなければならず、大変危険な状況にあります。 つきましては、現在、改良工事が進められておりますが、早期完成に向け、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 鮫 川 村	
21	要望箇所	強 滝 地 区	
		事 業 内 容	道 路 改 良
		延長 (m)	4 0 0
		《現状と要望事項》 鮫川村西山字強滝地内は、一部は改良されておりますが、未改良区間は狭隘で急勾配、急カーブが連続しており、特に冬期間においては、路面凍結によるスリップ事故が多発するなど、大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 鮫 川 村	
22	要望箇所	滝 ノ 下 地 区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	1, 6 0 0
		《現状と要望事項》 鮫川村赤坂東野字滝ノ下地内は、幅員が狭隘で屈曲が続いており、普通車両同士の対面交差も容易ではなく、接触事故が多発しております。 また、本区間は、幼児バス・スクールバスが運行されている路線でもあり、これら大型車両との交差を行うためには、一方が民家の入口などに移動しなくてはならないなど、大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 鮫 川 村	
23	要望箇所	戸 草 ・ 大 竹 地 区	
		事 業 内 容	道 路 改 良
		延長 (m)	3, 0 0 0
		《現状と要望事項》 鮫川村赤坂東野字戸草地内は、幅員が狭隘の上、屈曲が連続する俗称「つづらおり」区間であり、接触事故が多発しております。 また、スクールバス等大型車両との対面交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならず、普通車同士であっても路肩、あるいは側溝掛蓋の上を利用しなければ交差が出来ないなど、大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 塙 町	
24	要望箇所	南 田 代 地 区	
		事 業 内 容	道 路 改 良
		延長 (m)	2, 4 0 0
		《現状と要望事項》 塙町南田代地区は、幅員狭隘にして屈曲が多く、対面交差は普通車同士が限界であり、大型車両との交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならず、歩行者・車両通ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 塙 町	
25	要望箇所	片 貝 地 区	
		事 業 内 容	道 路 改 良
		延長 (m)	1, 8 0 0
		《現状と要望事項》 塙町片貝地区は、幅員狭隘にして屈曲が多く、対面交差は普通車同士が限界であり、大型車両との交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならず、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 矢 祭 町	
26	要望箇所	小田川 2 工区（宝坂）	
		事 業 内 容	国道第一種改良
		延長（m）	1，340
		《現状と要望事項》 矢祭町小田川 2 工区は、通学路、バス路線となっておりますが、人家が密接しているため幅員が極めて狭く、また、カーブも多いため、大型車両が交差を行うためには、一方が一旦停止しなければならず、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 また現在、本区間ではバイパス路線が暫定的に工事されておりますが、未だ未供用であります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 矢 祭 町	
27	要望箇所	下関工区（小田川・下関河内・上関河内地内）	
		事業内容	道 路 改 良
		延長（m）	3，400
		《現状と要望事項》 矢祭町を通る国道349号は、茨城県側の常磐自動車道那珂ICと福島県南部を結ぶ路線として、さらには福島空港や会津・県北地方の観光地へのアクセス道路として重要な路線であります。 特に、平成13年に茨城県側が全線整備されてからは、大型車両の通行が増加しておりますが、矢祭町下関工区は、大型車両同士の対面交差が難しく、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	茨城県那珂市・常陸太田市	
28	要望箇所	那珂市杉～常陸太田市瑞龍町	
		事業内容	道路改良
		延長 (m)	10,400
		《現状と要望事項》 那珂市杉～常陸太田市瑞龍町の区間は、福島県及び茨城県北部から茨城県都である水戸市及び常磐自動車道那珂ICへのアクセス道路として重要な路線であります。暫定2車線であることや、幸久大橋の直上流に架かる旧道の幸久橋が老朽化のため平成25年10月以降通行不能となったため、通行車両が幸久大橋に集中し、朝夕の通勤時や行楽シーズンには大渋滞が生じております。 つきましては、現在4車線化工事が進められておりますが、幸久大橋を含む全区間の早期完成が図られるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



国道349号建設促進期成同盟会 構 成 員

会 長	根 本		匠 (衆 議 院 議 員)
副会長	大 久 保	太	一 (茨城県 常陸太田市 市長)
副会長	岡 部	光	徳 (福島県 古 殿 町 長)
副会長	保 科	郷	雄 (宮城県 丸 森 町 長)
	高 橋		靖 (茨城県 水 戸 市 長)
	小 川	春	樹 (茨城県 日 立 市 長)
	海 野		徹 (茨城県 那 珂 市 長)
	清 水	敏	男 (福島県 い わ き 市 長)
	古 張		允 (福島県 矢 祭 町 長)
	宮 田	秀	利 (福島県 塙 町 長)
	大 樂	勝	弘 (福島県 鮫 川 村 長)
	澤 村	和	明 (福島県 平 田 村 長)
	大 和 田		昭 (福島県 小 野 町 長)
	本 田	仁	一 (福島県 田 村 市 長)
	新 野		洋 (福島県 二 本 松 市 長)
	佐 藤	金	正 (福島県 川 俣 町 長)
	仁 志 田	昇	司 (福島県 伊 達 市 長)
	大 友	喜	助 (宮城県 角 田 市 長)
	滝 口		茂 (宮城県 柴 田 町 長)

《国道349号全線図》



【沿線市町村】

◎宮城県
柴田町
角田市
丸森町

◎福島県
伊達市
川俣町
二本松市
田村市
小野町
いわき市
平田村
古殿町
鮫川村
塙町
矢祭町

◎茨城県
常陸太田市
日立市
那珂市
水戸市